

JForest

森林組合だより

平成29年9月1日
発行
第 115 号



写真は南福田集落所有林

- 平成29年度 秋田県林業経営コンクールで林業経営の部秋田県知事賞受賞
- 平成29年度 農林水産祭参加全国林業経営推奨行事で林野庁長官賞受賞

本荘由利森林組合

由利本荘市水林381

TEL 0184-24-4141(代) FAX 0184-24-4143

HP <http://www.honmori.com/> メール honmori@trad.ocn.ne.jp

7月3日(月)西目のシーガルを会場に平成29年度連絡員会議を開催しました。

今年度は連絡員148名、役員19名のほか、来賓として、森づくり推進課長並びに各班長のご出席をいただきました。

会議は小松組合長の挨拶に始まり、日頃のご苦労と協力に対してお礼を申し上げるとともに、今後とも引き続き組合員との重要な連絡役として務めてくださるようお願いしました。
また、組合から次の事項について報告しました。

- 一、指導・総務事業関係
 - ・ 賦課金のお知らせ
 - ・ 年間行事計画
 - ・ 組合員異動手続き
- 二、林産販売・丸棒加工事業関係
 - ・ 木材価格の推移
 - ・ 西目センター共販市況
- 三、製材加工事業関係
 - ・ 平成28年度西目製材所稼働状況
- 四、造林事業関係
 - ・ 平成28年度造林補助事業について

《仁賀保地区 佐藤氏》
Q、5年経っても搬出間伐されていない箇所がある。そのような箇所を優先して施業したらどうか。
A、山林所有者の同意を得て施業を行っているので、支所に足を運んでいただき、相談のうえ施業を行いたい。



仁賀保地区 佐藤氏

平成29年度 連絡員会議開催

《大内地区 鈴木氏》
Q、由利本荘の木材価格は他県に比べてどうなのか教えて欲しい。

テレビで九州の森林組合が中国に輸出しているのを目にした。秋田ではそのような動きはあるのか。
A、木材価格に関しては次回資料を提出させていただきます。

秋田県でも海外に輸出をおこなっている。ただ、販売がないために輸出しているの、値段がいいわけではなさそう。また、「県内の業者が国から補助金をもらって海外に木を出すのか」という話もあるため、慎重に進めているところだ。

《大内地区 中村氏》
Q、合併以来一度も出資配当をもらったことがない。連絡員への依頼文章の言葉使いが堅いので、やわらかくしたらどうか。
A、まだまだ事業の資金が足りないのが事実。組合員への配当の前に職員への給料を上げるべきだと考えているのでもう少し我慢してほしい。

職員教育に力を入れながら組合がスキルアップできるような経営を目指すのでご協力お願いしたい。
順次配達している所なのでもう少し待つて欲しい。



大内地区 鈴木氏



大内地区 中村氏



第23回 労働安全衛生大会を開催

6月23日（金）、旧由利町の善隣館を会場に、組合の技能班、職員を対象に第23回労働安全衛生大会を開催しました。

安全講話に、林業労働防止協会秋田県支部専務理事 佐藤博氏を講師としてお招きし、「林業労働災害の現状と防止対策について」と題し、林業労働災害防止関係系統・林業で発生した死亡災害の特徴と対策をお話いただきました。資料にはどのような災害防止があるか等、実際の死亡例と図を交えて詳細にお話いただきました。毎年事故が絶えない林業に身を置く立場として、大変身の引き締まる講話となりました。



講師 佐藤博氏



小松組合長の視察研修報告

安全講話に続き、小松組合長からヨーロッパの視察研修についてスライドを用いて、林業先進国の林業の取り組み、チップパー、CLT工場の説明がありました。

タワーヤードを使った集材や作業道の道幅等、現場での考え方や、動きも違うようで、大変興味のある話でした。

現場の他にもCLTを使用した集合住宅や、PCを使って設計した複雑な建造物、小型ガス発電等の話がありました。



大会宣言

林産班 小松 卓哉

私たちは、安全管理の重要性及び労働災害防止活動を確認し、本大会の開催を契機に無事故・無災害の決意を新たに、災害防止対策を全力で取り組む事をここに宣言致します。

「組織で進める

安全管理

みんなで取り組む

安全活動

未来へつなげよう

安全文化」

退職者感謝状贈呈

菅野慶一

(林販課技能職員)

優良運転者表彰

★無事故無違反

25年

伊藤 牧紀子

(仁賀保支所技能職員)

15年

相良 光洋

(林販課技能職員)

10年

鈴木 栄

(鳥海支所長)



第23回 本荘由利森林組合造林コンクール開催要領

1. 趣 旨

この造林コンクールは、健全な活力ある優良林分を造成し、良質材生産を志向した保育作業の合理化と技術の向上を図り、由利地方民有林の森林整備事業の推進と実績を高めるため開催し、合わせて所得向上に貢献することを目的とする。

2. 名 称 本荘由利森林組合造林コンクール

3. 主 催 本荘由利森林組合

4. 実施期間 申込：平成29年 9月1日～平成29年10月15日
審査：平成29年11月1日～平成29年11月30日

5. 実施方法

① 参加資格

本荘由利森林組合組合員とする。（旧由利地方森林組合長会及び本荘由利森林組合主催の造林コンクールで入賞した林分は同一部門での申込みはできません。）

② 参加林分の基準

※平成28～29年度中に施業を実施した林分に限る。

A 人工林

(イ) 樹 種……スギ

(ロ) 面 積……0.10ha以上

(ハ) 林 齢……植栽後7年生以上

B 育成天然林

(イ) 樹 種……広葉樹

(ロ) 面 積……0.10ha以上

(ハ) 林 齢……25年生以上

③ 参加部門

幼齢林の部……7年生～9年生

枝打ちの部……11年生～30年生

保育間伐の部……21年生以上

収穫間伐の部……21年生以上

育成天然林の部……25年生以上

④ 参加申込

各支所に備え付けの参加申込用紙に記入の上、各支所経由で申込むものとする。

⑤ 審査方法

審査委員長は、由利地域振興局農林部森づくり推進課長に依頼し、森づくり推進課員及び森林組合職員をもって審査するものとする。

⑥ 審査基準 別に定める。

⑦ 表 彰

組合長は、審査委員長からの審査結果報告に基づき入賞者を決定し、次により表彰するものとする。

- ・最優秀賞（由利地域振興局長賞）
- ・優秀賞（由利森林管理署長賞）
- ・優良賞（県森連合会長賞）
- ・入賞（森林組合長賞）
- ・奨励賞（森林組合長賞）

注：参加林分の状況などにより、入賞に至らない場合もあり得る。

移動林業相談の開催

○9月 6日(水)…仁賀保支所

○9月20日(水)…本荘支所

時間：AM10時～PM2時



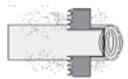
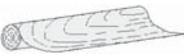


木製品の種類について

これまで、一般的に木製品は、生の原木から製材により、切ることによって柱や板を作り、建築部材などに使われてきましたが、近年は、接着剤や木材の人工乾燥技術が大幅に進歩したことから、引き板などの板類を張り合わせることで、割れや曲げに強い高性能な木製品が作られるようになりました。

今回は主な木製品の種類と作り方の違いなどについてお知らせいたします。

図1 木製品の種類と作り方の違い

作り方 \ 種類	単品	張り合わせる (同一方向)	直交に張り合わせる (交互)
①切って使う 	引き板(ラミナ)・柱など 	集成材 	直交集成板 (CLT) 
②剥いて使う 	単板(ベニヤ) 	LVL(単板積層) 	合板 
③チップ化して使う 	—	パーティクルボード	—
④繊維化して使う 	—	ファイバーボード ハードボード MDF	ストランドボード(OSB) ウェアボード(WB)

1 図1の説明

- (1) 図に示したとおり、製品を分類すると、原木を ①切って使う ②皮のように剥いて使う ③チップ状にして使う④細かく繊維状にして使う これらが出発点となります。
- (2) ①の切って使うと②の剥いて使う場合は、出来た引き板(ラミナ)や単板(ベニヤ)の単品を同一方向、または交互に張り合わせる場合などによって、それぞれの種類の製品に分けられます。
- (3) 張り合わせには、すべて接着剤が用いられます。
- (4) 張り合わせは、狂いを避けるため、通常は奇数層となっています。

2 主な木製品について

- 集成材
 - ・建築基準法の改正などにより、寸法の変化や狂いの少ない製品が求められるようになり、乾燥した引き板(ラミナ)を3または5層に接着(積層)した柱(管柱)などが代表的です。
- 直交集成板 (CLT)
 - ・集成材を面的に大型化した構造材として、近年注目されています。交互に積層されていることから高い強度があり、大型木造施設にも使用可能なほか、耐火性能の違いなどにより、製品のランクがあります。
- 合板
 - ・主に内装等に用いられるなじみのある木製品ですが、近年は、高性能で多様な製品が作られています。県内には、秋田プライウッドや新秋木工業など全国規模の量産工場があります。
- パーティクルボード、ファイバーボード
 - ・木材をチップ化、繊維化して、高温でプレス接着して作られます。家具製品や箱物、住宅の下地用資材などに利用されます。

この他最近注目されているのは、セルロースナノファイバー (CNF) という新素材です。

木材繊維をさらに細分化 ($1 \text{ナノ} = \frac{1}{100 \text{万}} \text{mm}$) した素材のことで、鉄より軽くて強じんなことから、プラスチックなどに混ぜ込み、自動車や飛行機など、幅広い分野への活用が期待されています。

木材市況情報 (平成29年)

単位：円、上段（石当り価格）
下段 m 当り 価格

樹種	材長 m	径級 cm	7月4日			8月2日		
			高値	安値	平均価格	高値	安値	平均価格
スギ	3.65	14下						
		16~22	(2,847) 10,250	(2,772) 9,979	(2,794) 10,060	(2,919) 10,510	(2,837) 10,213	(2,873) 10,341
		24~34	(3,334) 12,001	(3,198) 11,512	(3,236) 11,651	(3,505) 12,618	(3,409) 12,274	(3,466) 12,479
出材量・販売量・販売率			671m ² (2,416石)・666m ² (2,398石)・99%			598m ² (2,153石)・597m ² (2,149石)・99%		

7月：天然秋田杉とナラ以外は完売。4mの14cm下は若齢材で単価も弱い。それ以外は横パイで、山形県勢と量産工場が手当て。
8月：1本並べの物件に2口応札が無かった以外は完売。常連の量産工場と山形勢に加え、県北からの参加もあった。24~28cmで12,600円/m前後、16~22cmで10,200円/m前後と単価も強含みになってきた。

新職員紹介

8月に新しい仲間が入りました。これからよろしくお願ひします。



ふじわら たくみ
藤原 巧
●技能職員

教わったことを今後の仕事に活かしてスキルアップしていきます。



はせやま かえで
長谷山 楓
●総務課

感謝の気持ちを持って、日々努力し頑張ります。



おがわ ななこ
小川 奈々子
●総務課

早く仕事を覚えて、お役に立てるように頑張ります。よろしくお願ひします。

賦課金納入のお願い

賦課金納入時期が過ぎておりますので、未納の方はお早めに納入をお願いします。納付は組合本所・支所及び下記の金融機関へ納入下さいますようお願いいたします。なお、秋田しんせい農協では手数料はかかりません。

【取扱金融機関】

秋田銀行管内各支店
北都銀行管内各支店
羽後信用金庫各支店
山形銀行本荘支店
きらやか銀行本荘支店
秋田しんせい農業協同組合各支店



**本荘由利森林組合林業研究会
第20回通常総会及び視察研修**

今年度の総会及び視察研修会は13名の方々に参加いただき、地元由利本荘で開催しました。視察内容は次の通りです。

- (1) 組合チッパーの稼働視察（本荘）
- (2) 林業セミナーへの参加（本荘）
- (3) 木のプールの事業、薪ボイラー視察（矢島）
- (4) 龍源寺見学（矢島）
- (5) 南福田集落山林視察（由利）

職員異動のお知らせ 【8月1日付】

氏名	新職名	旧職名
猪股 映子	総務課主査	大内支所主査
板垣 真澄	大内支所主査	総務課主査
古川 暢	東由利支所係長	林産販売課係長
草刈 賢一	林産販売課主事	東由利支所主事

退職者の お知らせ

【技能職員】

三浦 洋信

長い間ご苦勞様でした。今後益々のご活躍をお祈りいたします。

